

じないまち 散歩

今回のこだわりスポットから、美原からはすぐお隣の富田林市富田林町、通称「寺内町(じないまち)」にスポットをあて「じないまち散歩」と題して8回にわたり紹介していきます。

「寺内町」は、1560年(永禄3年)に一向宗の宗教自治都市として開発されました。その街並みは東西約400m南北約350m続いており、現在でも江戸時代から現代に至る様々な時代の建造物が現存しています。この街並みを守るために、地元住民と行政が一体となって活動を続けられ1997年には「国の重要伝統的建物群保存地区」に指定されました。

最近では、この街並みに惹かれた人たちが景観を損なわないよう古民家や蔵等を利用してこだわりのユニークなお店やレストラン等を出店したり、また季節折々の風物をテーマにした催し等を定期的で開催されておりメディアでもよく取り上げられています。

ひっそりとした佇まいを残すお寺や町屋を巡ったり、個性的なお店を覗いてみたり、楽しみ方は自由です！
ゆったりのんびり休日の午後のお手軽散歩コースにお勧めです！

第1回目に紹介するお店は「手仕事と雑貨 23番地。」です。「23番地。」の由来は、平成22年3月に寺内町の別の場所でお店をオープンされた時の番地を店名にされたそうです。その後、平成24年5月に城之門筋の南端にある現在の場所に移転されました。店主の藤原さんは、大の犬好きでヨーロッパの雑貨屋さんのようなペットと入れることが特別じゃない空間をつくることにこだわり、築100年の古民家を土足のまま犬と一緒に入れるお店に変身させました。リフォームの工事の際は大工さんにまじって壁をやぶったそうです!! もちろん、リードを繋ぐフックも完備。取材に訪れた日も犬連れのお客様が入ってこられ、犬たちも居心地よさそうにしていました。店内には、「なくてもいいのかもしれないけれど、手にしたら心が豊かに日常を送れるような、日々の暮らしに寄り添う物」にこだわり、伊賀焼の軽くて手に馴染みやすい器をはじめ、手織りのアクセサリーや吉野桜のおはし等、人気の手仕事作家さんの心のこもった作品がセンス良く並べられており、取材しながらも全部ほしくなりました。(*^_^*)

今後は、手作り体験教室などのワークショップや不定期のイベント等にもとりこんでいきたいと店主の夢は少しずつゆっくりと広がっていくようです。これからの「23番地。」が楽しみです。



VOL.01 23番地.

富田林市富田林町17-43
電話 0721-26-2500
営業時間 10:30~17:00
定休日 毎週 月・火曜日
(月曜祝日の場合、火・水休み)
<http://23-banchi.jugem.jp/>



次にご紹介するお店は「陶工房 飛鳥」と「整体とアロマ ヤングハート」です。お楽しみに。

西から発信、新しい糖の可能性 「希少糖」について

広報委員会では、「あたらしき大地」の大幅なリニューアルを現在進めています。その第一弾として、今号から、このコーナーでは、同委員会メンバーの独断と偏見で選んだタイムリーな情報を発信していきます。「ほほーと思うもの」、「今更ながら知らなかったこと」等々テーマは無敵大です。ご期待ください。

一回目は、2013年これからブームになるのではないかと委員からの情報を得て「希少糖」に焦点をあてました。

希少糖、という言葉をご存じでしょうか。これは砂糖やブドウ糖とは異なり、ごくわずかにしか自然界に存在していない、希少な糖のことを「希少糖」と呼ぶのだそうです。

耳馴染みのない言葉ですが、最近では、メディアでも『46億年目の大逆転!「奇跡の糖」が人類を救う』というタイトルで、香川大学で大量生産に成功している「希少糖」が取り上げられ、にわかに注目が集まっているようです。

「希少糖」には「D-アロース」や「D-プシコース」など50種類ほどの種類があるそうです。

たとえばD-アロースと呼ばれる希少糖には、虚血保護作用があると言われています。虚血保護というのは、血液の流れが遮断されたり、血液が少なくなったことによるダメージを保護する作用のことです。

たとえば一定時間、動脈から血が送り込まれなかった細胞は死滅してしまいますが、このD-アロースを虚血前に注射することで、虚血を防ぐことができ、ひいては細胞の死滅を防ぐ効果が見込めるのだそうです。

また、もうひとつ生理活性機能という部分で、期待が高まっている希少糖「D-プシコース」には血糖値の上昇を抑える働きや動脈硬化を抑制する働きがあると見込まれており、どちらも、今後、医療分野や工業分野、医薬品や健康食品、化粧品など、幅広い分野で応用が期待されています。

…とはいっても、なんのこともか意味不明で????となっている方がほとんどだと思いますが、簡単に要約すると「すごい機能をもった甘味料ができた!」ということなのです。

「甘いものを食べて健康になる!」「しかも痩せる!」なんてことになれば、空前のブームになること間違いなしですよ!

まだまだ開発途中で、どこにでも売っているという代物ではありませんが、今後の動きには要チェックかもしれません。

